

政府の軍用地地代交渉 土地連が米側に要請

政府の軍用地地代交渉

土地連が米側に要請

【東京】来年5月に賃貸借契約が切れる米軍用地の地代交渉をめぐる、県軍用地等地主会連合会（土地連）の浜比嘉勇会長らは6日、在日米大使館でルーク公使と面談し、米側から日本政府に対し地代の引き上げを働き掛けるよう求めた。

浜比嘉会長は防衛省が土地連に対し、更新同意書のコピーでも地主の同意とみなせると通達したことも説明。「日米の努力してきた基地問題が一気に崩壊することになる。米側からも地主との地代交渉に応じるよう求めてほしい」と要請した。

また、土地連は7日にも緊急役員会を開き、同意書のコピー問題をめぐる防衛省に対する抗議決議を採択するか協議する。